

生 き が い

施策別 行政サービス成果表

視点	03 生きがい		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	06 育つ	コスト 合計	3,044,231千円	3,102,186千円	3,535,569千円			9,681,986千円
施策	31 子どもの健やかな育ちを実現します							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
子ども・子育て計画策定・管理事業	968千円	26,283千円	0千円	27,251千円	こども未来部 こども・若者政策課
留守家庭児童育成クラブ事業	178,344千円	8,761千円	5,663千円	192,768千円	教育推進部 地域こども支援課
保育所運営事業	1,749,743千円	976,432千円	13,818千円	2,739,993千円	こども未来部 こども育成課
保育所維持管理事業	10,861千円	0千円	213千円	11,074千円	こども未来部 こども育成課
地域保育園支援事業	15,879千円	0千円	0千円	15,879千円	こども未来部 こども育成課
保育所整備事業	33,000千円	0千円	0千円	33,000千円	こども未来部 こども・若者政策課
認定こども園支援事業	479,610千円	8,761千円	151千円	488,522千円	こども未来部 こども育成課
幼稚園備品整備事業	1,963千円	0千円	0千円	1,963千円	こども未来部 こども育成課
幼児健康管理事業	7,434千円	0千円	0千円	7,434千円	こども未来部 こども育成課
幼稚園施設維持管理事業	8,924千円	8,761千円	0千円	17,685千円	都市政策部 公共施設マネジメント室

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より ※家族に中学生以下の子どもがいる市民が対象	<p>「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		実績値は、基準値に比べて横ばいの傾向が続いている。	
	目標達成に向けた今後の課題		「子ども・子育て計画」に掲げる各事業を着実に進め、福祉や保健、医療、教育、まちづくりなどの関連部局と連携したさまざまな子育て支援施策を、変化するニーズに沿いながら総合的に推進することが求められる。	
	担当課		こども未来部 こども・若者政策課	

評価指標				傾向
2 保育所の入所待機児童数	定義	方向性	各年度4月1日現在の待機児童(国基準)	<p>保育所の入所待機児童数</p>
	実績値の評価・分析		平成27年度より、待機児童の計数方法が変更となり、保護者が求職活動中の場合も含めることとなったため、待機児童数は増加している。従来の計数方法であれば減少となるものの、依然として待機児童の解消には至っていない。	
	目標達成に向けた今後の課題		「子ども・子育て計画」に基づく諸施策の着実な推進による、待機児童の解消を図る。	
	担当課		こども未来部 こども育成課	

評価指標				傾向
3 合計特殊出生率	定義	方向性	母の年齢5歳階級別出生数÷各年10月1日現在の女性人口	<p>合計特殊出生率</p>
	実績値の評価・分析		近年は1.2程度で推移しており、全国・県の1.4程度の数値を下回っている。 ※必要な統計が未発表なため、H27は未算出	
	目標達成に向けた今後の課題		少子化を一気に解消する特効薬的な施策は無いと考えられるが、「あんばい ええまち かわにし創生 人口ビジョン・総合戦略」に掲げる、本市の歴史的な背景や優れた地域力などの特性を踏まえた様々な施策を総合的な推進を図っていく。	
	担当課		こども未来部 こども・若者政策課	

施策別 行政サービス成果表

視点	03 生きがい		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	06 育つ	コスト 合計	3,753,068千円	3,870,451千円	3,741,399千円			11,364,918千円
施策	32 明るく楽しい子育てを支援します							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
児童館運営事業	6,723千円	8,761千円	0千円	15,484千円	市民生活部 総合センター
乳幼児等医療扶助事業	337,267千円	0千円	0千円	337,267千円	健康福祉部 医療助成・年金課
母子等医療扶助事業	32,619千円	0千円	0千円	32,619千円	健康福祉部 医療助成・年金課
子育て支援事業	66,509千円	26,283千円	0千円	92,792千円	こども未来部 子育て・家庭支援課
児童手当等支給事業	2,510,056千円	8,761千円	0千円	2,518,817千円	こども未来部 子育て・家庭支援課
ひとり親家庭支援事業	483,920千円	8,761千円	0千円	492,681千円	こども未来部 子育て・家庭支援課
子育て世帯臨時特例給付金給付事業	69,829千円	0千円	0千円	69,829千円	こども未来部 子育て・家庭支援課
母子保健推進事業	111,822千円	70,088千円	0千円	181,910千円	健康福祉部 健幸政策室

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「子育て支援が充実している」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より ※家族に中学生以下の子どもがいる市民が対象	<p>「子育て支援が充実している」と思う市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		・年度によって増減はあるものの、いずれも基準値を上回っている。	
	目標達成に向けた今後の課題		・子育て支援の拠点として、既存のプレイルームの充実および公民館を活用した出張プレイルームを実施し、利用者の増加に努める。 ・子育て支援団体等との連携を深め、不安を抱える親に対する取組みを進める。	
	担当課		こども未来部 子育て・家庭支援課	

評価指標				傾向
2 乳幼児健康診査受診率	定義	方向性	(乳幼児健康診査受診者数＋未受診児のうち状況を把握した人数)÷健康診査対象者数	<p>乳幼児健康診査受診率</p>
	実績値の評価・分析		昨年度より上昇傾向にあり、目標値に近づいている。	
	目標達成に向けた今後の課題		今後も乳幼児健診を実施し、未受診児の状況把握とともに受診勧奨に努めることにより、目標達成を図りたい。	
	担当課		健康福祉部 健幸政策室	

評価指標				傾向
3 妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している母親の割合	定義	方向性	アンケート調査より	<p>妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している母親の割合</p>
	実績値の評価・分析		今年度より妊婦健康診査の助成額引き上げを行った。数値は、昨年度より上昇傾向にある。	
	目標達成に向けた今後の課題		今後も妊婦健康診査の助成制度や乳幼児健康診査等の保健サービスについては、事業の充実等を図っていく。	
	担当課		健康福祉部 健幸政策室	

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向														
児童扶養手当受給資格者に対する全部支給の割合	定義	方向性	各年度末現在	<p>児童扶養手当受給資格者に対する全部支給の割合</p> <table border="1"> <caption>児童扶養手当受給資格者に対する全部支給の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>43.7</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>56.6</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>57.5</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>55.9</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>54.9</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>43.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合 (%)	基準値	43.7	H25	56.6	H26	57.5	H27	55.9	H28	54.9	目標値	43.7
	年度	割合 (%)																
	基準値	43.7																
	H25	56.6																
H26	57.5																	
H27	55.9																	
H28	54.9																	
目標値	43.7																	
実績値の評価・分析		・昨年度より微減しており、減少傾向にある。																
目標達成に向けた今後の課題		・引き続き自立支援給付金事業や自立支援プログラム策定事業を活用した支援を行う。 ・一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな相談・支援に一層努め、ひとり親家庭の自立意欲を高めていく。																
担当課		こども未来部 子育て・家庭支援課																

施策別 行政サービス成果表

視点	03 生きがい		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	06 育つ							
施策	33 すべての子ども・若者の逞(たくま)しい成長を社会全体で支援します	コスト合計	39,164千円	38,378千円	23,822千円			101,364千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
青少年支援事業	5,407千円	17,522千円	0千円	22,929千円	こども未来部 こども・若者政策課
成人式典実施事業	893千円	0千円	0千円	893千円	こども未来部 こども・若者政策課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 充実感を持って生きている若者の割合	定義	方向性	市民実感調査より ※29歳までの市民が対象	<p>充実感を持って生きている若者の割合</p>
	実績値の評価・分析	年度毎の数値が上下しているが、昨年度より実績値は大幅に上昇した。		
	目標達成に向けた今後の課題	10代、20代の若者が将来に希望を持ち、さまざまな社会活動ができるように支援していく。		
	担当課	こども未来部 こども・若者政策課		

評価指標				傾向
2 名前(ニックネーム含む)を知っている近所の子どもの数	定義	方向性	市民実感調査より	<p>名前(ニックネーム含む)を知っている近所の子どもの数</p>
	実績値の評価・分析	地域住民と子どものふれあいの状況を知る指標であるが、横ばいが続いている。		
	目標達成に向けた今後の課題	地域とのつながりを深めることの大切さを「青少年ふれあいデー」の啓発を通して伝えることや、青少年育成団体の活動を支援し、世代間の交流を増やす取り組みを推進する。		
	担当課	こども未来部 こども・若者政策課		

評価指標				傾向
3 成人式典への参加率	定義	方向性	出席した新成人の人数 ÷ 市内新成人の人数	<p>成人式典への参加率</p>
	実績値の評価・分析	参加率は下降で推移しているが、新成人の半数以上が出席している。		
	目標達成に向けた今後の課題	成人としての自覚や社会参加を促す式典として厳かな面を残しつつ、現代の時流に対応した柔軟な式典の運営を行うことで、参加率を上昇させる。		
	担当課	こども未来部 こども・若者政策課		

施策別 行政サービス成果表

視点	03 生きがい		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	07 学ぶ	コスト 合計	192,734千円	209,837千円	218,388千円			620,959千円
施策	34 児童・生徒の学力を向上させます							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
教育情報推進事業	17,812千円	0千円	4,787千円	22,599千円	教育推進部 学校指導課
教育相談センター運営事業	29,156千円	8,761千円	0千円	37,917千円	教育推進部 教育相談センター
学校教育支援事業	16,708千円	17,522千円	0千円	34,230千円	教育推進部 学校指導課
教育研究事業	8,300千円	8,761千円	0千円	17,061千円	教育推進部 学校指導課
小学校教科書・副読本整備事業	22,899千円	0千円	0千円	22,899千円	教育推進部 学校指導課
小学校教育情報推進事業	51,725千円	0千円	0千円	51,725千円	教育推進部 学校指導課
中学校教科書・副読本整備事業	239千円	0千円	0千円	239千円	教育推進部 学校指導課
中学校教育情報推進事業	30,717千円	0千円	0千円	30,717千円	教育推進部 学校指導課
特別支援学校教育情報推進事業	1,001千円	0千円	0千円	1,001千円	教育推進部 学校指導課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「学習内容を理解している」と思う児童の割合(小学生)	定義	方向性	全国学力・学習状況調査より	<p>「学習内容を理解している」と思う児童の割合(小学生)</p> <p>90% 85% 80% 75% 70%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	「学習内容を理解している」児童が目標値に達しており、今後も向上をめざし取り組みを進める。		
	目標達成に向けた今後の課題	「学習内容を理解している」児童の割合が増加傾向となった。学力向上にむけ、教育に関する検証改善サイクルの構築や教職員研修の充実を図り、引き続き学力の向上に努めていく。		
	担当課	教育推進部 学校指導課		

評価指標				傾向
2 「学習内容を理解している」と思う生徒の割合(中学生)	定義	方向性	全国学力・学習状況調査より	<p>「学習内容を理解している」と思う生徒の割合(中学生)</p> <p>75% 70% 65% 60%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	「学習内容を理解している」生徒の割合が目標値をこえて上昇傾向にある。今後も向上をめざし取り組みを進める。		
	目標達成に向けた今後の課題	「学習内容を理解している」生徒の割合は近年増加傾向となっている。教育に関する検証改善サイクルの構築や教職員研修の充実を図り、引き続き学力の向上に努めていく。		
	担当課	教育推進部 学校指導課		

評価指標				傾向
3 児童・生徒にICT活用を指導できる教員の割合	定義	方向性	文部科学省実態調査より	<p>児童・生徒にICT活用を指導できる教員の割合</p> <p>100% 90% 80% 70%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	微増ではあるが、児童・生徒にICT活用を指導できる教員の割合は増えてきている。今後も、目標達成に向けて取り組みを進めていく。		
	目標達成に向けた今後の課題	教育の情報化出前研修の充実を図るとともに、教育の情報化推進研究事業での研究成果を広く知らせていき、さらなる児童・生徒にICT活用を指導できる教員の割合の向上をめざす。		
	担当課	教育推進部 学校指導課		

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向														
4 個別の教育支援計画作成の進捗度	定義	方向性	LD・ADHD・高機能自閉症等の子どもへの学校対応到達度	<p>個別の教育支援計画作成の進捗度</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>進捗率 (%)</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>11.9</td></tr> <tr><td>H25</td><td>45.0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>77.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>100.0</td></tr> </table>	年度	進捗率 (%)	基準値	11.9	H25	45.0	H26	77.4	H27	100.0	H28	100.0	目標値	100.0
	年度	進捗率 (%)																
	基準値	11.9																
	H25	45.0																
H26	77.4																	
H27	100.0																	
H28	100.0																	
目標値	100.0																	
実績値の評価・分析		通常学級に在籍するLD・ADHD・高機能自閉症等の特別な支援を必要とする児童生徒は、年々増加傾向にある。																
目標達成に向けた今後の課題		児童生徒に対しては、保護者の了解を得て、個別の教育支援計画を作成し、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、きめ細かく適切な教育的支援を行うことに努めていく。																
担当課		教育推進部 教育相談センター																

施策別 行政サービス成果表

視点	03 生きがい		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	07 学ぶ	コスト 合計	164,291千円	140,587千円	170,284千円			475,162千円
施策	35 ころ豊かな児童・生徒を育みます							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
教育広報発行事業	1,028千円	0千円	0千円	1,028千円	こども未来部 教育総務課
学校・地域連携推進事業	679千円	0千円	0千円	679千円	教育推進部 学校指導課
青少年育成事業	21,539千円	26,283千円	0千円	47,822千円	教育推進部 生徒指導支援課/地域こども支援課
学校人権教育推進事業	1,410千円	8,761千円	0千円	10,171千円	教育推進部 学校指導課
生徒指導支援事業	3,387千円	8,761千円	0千円	12,148千円	教育推進部 生徒指導支援課
適応教室運営事業	18,022千円	0千円	0千円	18,022千円	教育推進部 教育相談センター
小学校体験活動事業	32,027千円	8,761千円	0千円	40,788千円	教育推進部 生徒指導支援課
小学校教育支援事業	4,896千円	0千円	0千円	4,896千円	教育推進部 学校指導課
中学校教育支援事業	14,165千円	8,761千円	0千円	22,926千円	教育推進部 生徒指導支援課
丹波少年自然の家運営事業	11,691千円	0千円	0千円	11,691千円	教育推進部 生徒指導支援課
子ども議会実施事業	113千円	0千円	0千円	113千円	教育推進部 学校指導課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
「子どもの安全・安心を守る取り組みが行われている」と思う保護者の割合	定義	方向性	保護者を対象とした実感調査より	<p>「子どもの安全・安心を守る取り組みが行われている」と思う保護者の割合</p> <p>95% 90% 85% 80% 75% 70%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		青色回転灯装備車による巡回、地域と連携したパトロールを行うことにより、保護者が見守りの様子を実感している。	
	目標達成に向けた今後の課題		青少年センターの青色回転灯装備車による定期的な巡回パトロールに加え、緊急時にも巡回パトロールを行い、児童生徒の安全確保の充実を図る。また、青色回転灯装備車が市民の目に触れることにより、児童生徒や保護者の安心につながるよう努める。	
	担当課		教育推進部 生徒指導支援課	

評価指標				傾向
「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合（小学生）	定義	方向性	子どもの実感調査より	<p>「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合（小学生）</p> <p>100% 95% 90% 85% 80% 75% 70%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		「学校に行くことが楽しい」と感じている児童が目標値に達しており、今後も更なる向上をめざす。	
	目標達成に向けた今後の課題		「学校に行くことが楽しい」と感じている児童の割合は増加傾向にある。今後も学力面・友人関係面・教育的環境の整備面等での取り組みを進め、児童がいそいそと学校生活を送ることができるような学校経営をもとに学級経営を行い、目標値達成後も向上に向けて取り組む。	
	担当課		教育推進部 学校指導課	

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向
3 「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合 (中学生)	定義	方向性	子どもの実感調査より	<p>「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(中学生)</p> <p>90% 85% 80% 75% 70% 65% 60%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	「学校に行くことが楽しい」と感じている生徒が目標値をこえており、今後も更なる向上をめざす。		
	目標達成に向けた今後の課題	「学校に行くことが楽しい」と感じている生徒の割合は増加傾向にある。今後も学力面・友人関係面・教育的環境の整備面等での取り組みを進め、生徒がいいきと学校生活を送ることができるような学校経営をもとに学級経営を行い、目標値達成後も向上に向けて取り組む。		
	担当課	教育推進部 学校指導課		

評価指標				傾向
4 「トライやる・ウィークの一週間が充実していた」と思う生徒の割合	定義	方向性	生徒アンケートより	<p>「トライやる・ウィークの一週間が充実していた」と思う生徒の割合</p> <p>100% 95% 90% 85% 80% 75% 70%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	トライやる・ウィークについては生徒は概ね充実したと実感している。		
	目標達成に向けた今後の課題	今年度は、目標値90%を上回ることができた。学校は、事後指導をしっかりと行うことで、地域、子ども、家庭が今回の成果を共有し合うことが大切である。今後も90%以上を保持できるよう努める。		
	担当課	教育推進部 生徒指導支援課		

評価指標				傾向
5 「小学校体験活動が充実していた」と思う児童の割合	定義	方向性	児童アンケートより	<p>「小学校体験活動が充実していた」と思う児童の割合</p> <p>100% 98% 96% 94% 92% 90%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	小学校体験活動については、児童は概ね充実したと感じている。		
	目標達成に向けた今後の課題	児童の発達段階に応じた体験内容の充実と、体験活動にゆとりのある実施時間を確保することが課題である。近年、電車での移動を取り入れる学校が増えた結果、移動時間が増加し、体験活動の時間が減少している傾向にある。		
	担当課	教育推進部 生徒指導支援課		

施策別 行政サービス成果表

視点	03 生きがい		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	07 学ぶ	コスト 合計	441,351千円	494,115千円	399,384千円			1,334,850千円
施策	36 誰もが等しく学べるよう支援します							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
学校教育振興団体補助事業	2,253千円	0千円	0千円	2,253千円	こども未来部 こども育成課
就園奨励費補助事業	138,431千円	0千円	0千円	138,431千円	こども未来部 こども育成課
就学支援事業	139,616千円	26,283千円	0千円	165,899千円	教育推進部 学務課
学校教育管理事業	18,346千円	17,522千円	0千円	35,868千円	教育推進部 学校指導課
相談事業	21,446千円	8,761千円	0千円	30,207千円	教育推進部 教育相談センター
特別支援学校教育支援事業	17,965千円	8,761千円	0千円	26,726千円	教育推進部 教育相談センター

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 経済的理由による長期欠席児童生徒数の全児童生徒数に占める割合	定義	方向性	経済的理由による長期欠席児童生徒数 ÷ 全児童生徒数 →	<p>経済的理由による長期欠席児童生徒数の全児童生徒数に占める割合</p>
	実績値の評価・分析		現在、経済的な理由により長期欠席する児童・生徒はなく、目標が達成できている。	
	目標達成に向けた今後の課題		引き続き、国の動向等を注視し、適切な制度設計を行うとともに、学校と連携を図り、制度の周知や円滑な手続きに努め、児童・生徒の就学支援を図る。	
	担当課		教育推進部 生徒指導支援課	

評価指標				傾向
2 就学指導に係る園児・児童・生徒の保護者が「就学先に満足している」と思う割合	定義	方向性	保護者の面接相談による ↗	<p>就学指導に係る園児・児童・生徒の保護者が「就学先に満足している」と思う割合</p>
	実績値の評価・分析		就学指導委員会にあげる園児・児童生徒の保護者が、全員就学先について満足していることが望ましい。	
	目標達成に向けた今後の課題		目標達成のために、該当保護者に対しては進学先等の十分な情報提供を丁寧に実施していく必要がある。	
	担当課		教育推進部 教育相談センター	

施策別 行政サービス成果表

視点	03 生きがい		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	07 学ぶ	コスト 合計	441,351千円	528,249千円	531,875千円			1,501,475千円
施策	37 児童・生徒の健康を守ります							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
小学校給食運営事業	120,650千円	328,118千円	5,171千円	453,939千円	教育推進部 学務課
児童健康管理事業	32,861千円	8,761千円	0千円	41,622千円	教育推進部 学校指導課
中学校ミルク給食運営事業	1,594千円	0千円	0千円	1,594千円	教育推進部 学務課
生徒健康管理事業	15,387千円	0千円	0千円	15,387千円	教育推進部 学校指導課
特別支援学校給食運営事業	851千円	17,522千円	0千円	18,373千円	教育推進部 学務課
児童・生徒健康管理事業	960千円	0千円	0千円	960千円	教育推進部 学校指導課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 健康診断結果をもとに治療勧告し、病院受診した割合	定義	方向性	健康診断結果をもとに治療勧告し、病院受診した割合	<p>健康診断結果をもとに治療勧告し、病院受診した割合</p>
	実績値の評価・分析		受診率は上昇傾向を示しており、今後も継続し受診率の向上に努める。	
	目標達成に向けた今後の課題		本市の児童生徒が健康であるためには、健康診断結果をもとに発出する治療勧告を受け、病院受診することが望ましい。そのために、保護者に対しては、十分な情報提供を行う。今後も継続して、病院受診の必要性を啓発していく。	
	担当課		教育推進部 学校指導課	

評価指標				傾向
2 小学校給食の残食率	定義	方向性	小学校給食の残食率	<p>小学校給食の残食率</p>
	実績値の評価・分析		残食率は目標値である「0」に近い数字で推移している。	
	目標達成に向けた今後の課題		引き続き、和食を中心とした手づくりにこだわった献立をはじめ、栄養教諭や調理師による喫食指導、地産地消などの取り組みを進め、子どもたちの望ましい食習慣の実現につなげる。	
	担当課		教育推進部 学務課	

施策別 行政サービス成果表

視点	03 生きがい		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	07 学ぶ	コスト 合計	2,990,899千円	1,120,294千円	2,248,457千円			6,359,650千円
施策	38 計画的・効果的に教育環境を整備します							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
小学校備品整備事業	10,233千円	0千円	0千円	10,233千円	こども未来部 教育総務課
小学校図書整備事業	4,432千円	0千円	0千円	4,432千円	こども未来部 教育総務課
中学校備品整備事業	7,943千円	0千円	0千円	7,943千円	こども未来部 教育総務課
中学校図書整備事業	3,659千円	0千円	0千円	3,659千円	こども未来部 教育総務課
特別支援学校備品整備事業	316千円	0千円	0千円	316千円	こども未来部 教育総務課
小学校施設維持管理事業	69,653千円	12,722千円	0千円	82,375千円	都市政策部 公共施設マネジメント室
中学校施設維持管理事業	32,865千円	8,761千円	0千円	41,626千円	都市政策部 公共施設マネジメント室
特別支援学校施設維持管理事業	10,587千円	0千円	0千円	10,587千円	都市政策部 公共施設マネジメント室
教育施設耐震化事業	55,726千円	0千円	248,525千円	304,251千円	都市政策部 公共施設マネジメント室
学校施設耐震化・大規模改造PFI推進事業	1,765,513千円	17,522千円	0千円	1,783,035千円	都市政策部 公共施設マネジメント室

【施策評価指標】

評価指標				傾向														
1 学校・園施設の耐震化率	定義	方向性	耐震化されている棟数÷対象全棟数	<p>学校・園施設の耐震化率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>基準値</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>率</th><td></td><td>67.6</td><td>88.1</td><td>92.4</td><td>97.5</td><td>100.0</td></tr> </table>	年度	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	率		67.6	88.1	92.4	97.5	100.0
	年度	基準値	H25		H26	H27	H28	目標値										
	率		67.6		88.1	92.4	97.5	100.0										
	実績値の評価・分析		・平成27年度で、小・中学校の耐震化率100%を達成できた。 ・幼稚園は、平成27年度で70%である。															
目標達成に向けた今後の課題		・幼稚園の実質的な耐震化は、「子ども・子育て計画」のより一層の推進が重要である。 ・屋内運動場等の非構造部材は、早期の耐震対策が必要である。																
担当課	都市政策部 公共施設マネジメント室																	

評価指標				傾向														
2 小・中学校のトイレ洋式化率	定義	方向性	小・中学校施設における洋式便器数÷全便器数	<p>小・中学校のトイレ洋式化率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>基準値</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>率</th><td></td><td>40.4</td><td>57.2</td><td>59.4</td><td>63.4</td><td>66.0</td></tr> </table>	年度	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	率		40.4	57.2	59.4	63.4	66.0
	年度	基準値	H25		H26	H27	H28	目標値										
	率		40.4		57.2	59.4	63.4	66.0										
	実績値の評価・分析		・耐震化事業等に併せて、トイレ改修を行い数値は上向きである。															
目標達成に向けた今後の課題		・耐震化が達成することにより、併せて行っていたトイレ改修が終了する。 ・新耐震の学校、耐震化事業でトイレ改修ができていない学校に対しての計画的な手立てが必要である。																
担当課	都市政策部 公共施設マネジメント室																	

施策別 行政サービス成果表

視点	03 生きがい		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	07 学ぶ	コスト 合計	632,114千円	624,974千円	746,018千円			2,003,106千円
施策	39 市民の学びを通して地域社会を支えます							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
生涯学習推進事業	2,986千円	8,761千円	0千円	11,747千円	教育推進部 社会教育・文化財課
生涯学習短期大学運営事業	13,888千円	8,761千円	7,740千円	30,389千円	教育推進部 社会教育・文化財課
公民館運営事業	184,069千円	89,893千円	11,871千円	285,833千円	教育推進部 中央公民館
公民館維持管理事業	232,013千円	12,722千円	0千円	244,735千円	教育推進部 中央公民館
図書館運営事業	92,481千円	35,044千円	0千円	127,525千円	教育推進部 中央図書館
図書館施設維持管理事業	45,789千円	0千円	0千円	45,789千円	教育推進部 中央図書館

【施策評価指標】

評価指標				傾向	
過去1年間に継続して生涯学習に取り組んだ市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	↗	
	実績値の評価・分析	・インターネットなどで学習情報を入手しやすくなっており、学習の機会が増えている。			
	目標達成に向けた今後の課題	・市民の生涯学習に対するニーズの適切な把握と講座等の実施と迅速な情報の発信。 ・学習情報の収集、提供、相談など、「学び」を支援する体制を充実させる。			
	担当課	教育推進部 社会教育・文化財課			

評価指標				傾向	
「生涯学習の条件が整備されている」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	↗	
	実績値の評価・分析	・数値は、昨年度を除き、ほぼ横ばいである。生涯学習活動の場が一部の市民を除き、浸透していないことが考えられる。			
	目標達成に向けた今後の課題	・施設などのハード面のみならず、講座の展開などソフト面での内容の充実を図る。 ・社会教育施設の適正な維持管理に努める。 ・実施されている講座や学習の情報を積極的に発信していく。			
	担当課	教育推進部 社会教育・文化財課			

評価指標				傾向	
3 公民館講座満足度	定義	方向性	講座受講者アンケートより	↗	
	実績値の評価・分析	全体的には前年度とほぼ同程度の満足度を得られた。			
	目標達成に向けた今後の課題	公民館10館では、幅広い年齢層の市民に対して、生涯学習の機会を提供するため、現代的・社会的課題など市民のニーズに対応した講座を開催している。子ども対象講座を除いた講座受講者へのアンケートを実施することにより、市民ニーズの把握に努め、より市民の満足度を得られる講座の企画・運営を行い、目標達成に努めていく。			
	担当課	教育推進部 中央公民館			

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向												
4 生涯学習短期大学講座満足度	定義	方向性	講座受講者アンケートより	<p>生涯学習短期大学講座満足度</p> <table border="1"> <caption>生涯学習短期大学講座満足度</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>87.9</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>87.3</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>76.7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>80.7</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度 (%)	基準値	87.9	H25	87.3	H26	76.7	H27	80.7	目標値	95.0
	年度	満足度 (%)														
	基準値	87.9														
	H25	87.3														
H26	76.7															
H27	80.7															
目標値	95.0															
実績値の評価・分析		<ul style="list-style-type: none"> ・前年度からは数値は上向いているが、学生のニーズが多様化してきていることが考えられる。 														
目標達成に向けた今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・講義カリキュラムが市民に的確に伝わるよう、入学案内やチラシへの記載内容をよく検討する。 ・講義内容、講義前後の対応も含め、学習環境を整備していく。 														
担当課	教育推進部 社会教育・文化財課															

施策別 行政サービス成果表

視点	03 生きがい		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	07 学ぶ							
施策	40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します	コスト合計	144,012千円	383,334千円	149,933千円			677,279千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
文化財事業	82,108千円	21,483千円	46,342千円	149,933千円	教育推進部 社会教育・文化財課

【施策評価指標】

評価指標				傾向												
1 川西の歴史・文化財に興味がある市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>川西の歴史・文化財に興味がある市民の割合</p> <table border="1"> <caption>川西の歴史・文化財に興味がある市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>63.5</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>64.2</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>62.7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>59.3</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>70.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合 (%)	基準値	63.5	H25	64.2	H26	62.7	H27	59.3	目標値	70.0
	項目	割合 (%)														
	基準値	63.5														
	H25	64.2														
H26	62.7															
H27	59.3															
目標値	70.0															
実績値の評価・分析			・数値が下降しているのは、市民への啓発が低調であると考え。													
目標達成に向けた今後の課題			・ホームページでの情報発信と文化財施設を使った企画展や講座を充実させる。 ・学校や公民館等と連携するなどして、市内の歴史や文化財に興味を持ってもらう新たな取り組みを検討、実施していく。													
担当課			教育推進部 社会教育・文化財課													